

開講期	2026年度前期、2026年度後期			単位数	4.0単位
科目[授業]名	1125 法と人権(日本国憲法2単位を含む)			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	木曜5限				
教室	J401教室				
代表教員	徳永 貴志				
担当教員	徳永 貴志				
テーマと到達目標	私たちが人として当然有しているとされる基本的人権について、その歴史的・思想的背景を辿り、他国との比較を行うことによって、その規制や調整のあり方を普遍的な視点から評価できる力を身につけることをねらいとする。また、今日我々が直面している重要な人権問題の所在を知り、広い視野と柔軟な思考によって、それらの問題を論理的に整理し、自らの価値判断に従って理に適った議論を組み立てることができることを目指す。				
概要	基本的人権に関わる諸問題について、(主に日本の最高裁判所の) 裁判例を紹介しながら、日本国憲法の規定に即して詳しく解説する。また、担当講師による人権に関する法理論の説明に加えて、実務家や関連分野の専門家による特別講義も予定している。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員(複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	基本的人権の分類				対面授業
第2回	基本的人権の享有主体				対面授業
第3回	表現の自由とは何か				対面授業
第4回	表現の自由に対する規制				対面授業
第5回	民主主義と政治的表現				対面授業
第6回	報道の自由・集会の自由				対面授業
第7回	信教の自由の歴史				対面授業
第8回	信教の自由の保障内容				対面授業
第9回	信教の自由の保障の限界				対面授業
第10回	政教分離原則とは何か				対面授業
第11回	目的効果基準				対面授業
第12回	政教分離と信教の自由との関係				対面授業
第13回	思想・良心の自由の歴史				対面授業
第14回	思想・良心の自由に関連する裁判例				対面授業
第15回	学問の自由の歴史				対面授業
第16回	大学の自治				対面授業
第17回	職業選択の自由				対面授業
第18回	居住移転の自由				対面授業
第19回	二重の基準論				対面授業
第20回	規制目的二分論				対面授業
第21回	財産権の歴史				対面授業
第22回	制度的保障				対面授業
第23回	規制立法の違憲審査				対面授業
第24回	正当な補償				対面授業

第25回	生存権		対面授業
第26回	労働基本権		対面授業
第27回	教育を受ける権利		対面授業
第28回	法の下での平等		対面授業
第29回	国務請求権		対面授業
第30回	総括・まとめ		対面授業
成績評価の基準	①授業内の課題（40%）、②レポート課題（20%）、③期末試験（40%）の合計点で評価する。		
履修にあたっての留意事項	対面授業時において自宅学習が認められた学生には自宅学習用の資料を配布する。		
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細			
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件			

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	特に想定していない。		
教科書	斎藤一久・堀口悟郎編著『図録日本国憲法〔第3版〕』（弘文堂、2026年） 只野雅人・松田浩編著『現代憲法入門〔第2版〕』（法律文化社、2025年）	教科書(ISBN)	
参考文献	法令集：『ポケット六法』（有斐閣）	参考文献(ISBN)	併用しない。

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	--